

思いを繋いで
第20回

結ぶ、
つながる、
紡いでいく。

ひろしま「山の日」県民の集いの記録

2022年6月5日(日) 開催

ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会/中国新聞社/中国放送

はじめに

広島は里山の邦と言ってもいいでしょう。 広島の里山は、里、川、まち、そして海ともつながり、多くの恵みをもたらし、命を育んでいます。

人と里山、人と山、里とまち、企業と地域・・・ 神石高原町をメイン会場に広島県内11の市町12会場を結んで、第20回ひろしま「山の日」県民の集いを開催いたしました。

これは、その記録です。

●第20回ひろしま「山の日」県民の集い 「山の日」宣言

広島県の面積のおよそ7割は山です。全国に誇る里山があります。山から湧き出る水は命の源であり、その水が里の稲や野菜を育てています。

山を被う緑の木や草は、新鮮な空気をつくりだしています。

広島の豊かな山で生まれた水は豊かな川となり瀬戸内海や日本海へ注ぎ、魚や貝を育てています。

私たちは、6月の第一日曜日をひろしま「山の日」とし
ひろしま「山の日」県民の集いを県内各地で開催し
山の大切さを訴えています。

ひろしまの里山から、山の大切さを理解し行動する人の輪を拡げ、
山がよくなる運動にしていくことを宣言します。

2022年6月5日

ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
会長 前垣壽男

目次

1	事業のアウトライン	3
2	各会場の記録	
①	神石高原町会場:神石高原ティアガルテン	4
②	東広島市会場:東広島市憩いの森公園	12
③	廿日市市会場:県立もみのき森林公園	16
④	広島市会場:ひろしま遊学の森(広島県緑化センター)	18
⑤	広島市会場:ひろしま遊学の森(広島市森林公園)	19
⑥	庄原市会場:国営備北丘陵公園(6月18日(土)開催)	21
⑦	福山市会場:ふくやまふれ愛ランド	22
⑧	北広島町会場:八幡高原	23
⑨	三次市会場:酒屋いこいの森・ほしはら山のがっこう	25
⑩	大竹市会場:マロンの里交流館	28
⑪	世羅町会場:せら夢公園(6月4日(土)・5日(日)開催)	29
⑫	府中市会場:府中市月見ヶ丘公園(6月26日(日)開催)	32
3	実行委員	34
4	ひろしま「山の日」県民の集いの歩み	36

1. 事業のアウトライン

1 目的	森林ボランティアや民間が中心となり展開してきた、ひろしま「山の日」県民の集いも 20 回目となる。目標の一つとしてきた、「山の日」が平成 28 年 8 月 11 日より国民の祝日になり実現した。SDG's に掲げられている 17 の目標の中で 14「海の豊かさを守ろう」、15「陸の豊かさを守ろう」の 2 つの目標については、私たちの活動そのものです。里山には、SDG's の身近な教材や資源が豊富であり、活動を通じて参加者一人一人にとって SDG's がより身近なものになる森づくり運動として、多くの県民が、この日に、身近な山へ入るきっかけをつくることを目的にする
2 日時	2022 年 6 月 5 日(日) 集いの行事
3 場所	広島県内 11 市町 12 会場 神石高原町会場(神石高原ティアガルテン) 東広島市会場(東広島市憩いの森公園)、廿日市市会場(県立もみのき森林公園)、広島市会場ひろしま遊学の森(広島県緑化センター・広島市森林公園)、庄原市会場(国営備北丘陵公園)、福山市会場(ふくやまふれ愛ランド)、三次市会場(酒屋いこいの森・ほしはら山のがっこう)、北広島町会場(八幡高原)、大竹市会場(マロンの里交流館)、世羅町会場(せら夢公園)、府中市会場(府中市月見ヶ丘公園)
4 総参加者	2,117人 (山の手入れ等参加者395人)
5 主催	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社、中国放送
6 特別協力	ひろしまの森林づくりフォーラム
7 後援	林野庁近畿中国森林管理局、広島県、広島県教育委員会、東広島市、広島市、廿日市市、呉市、三原市、庄原市、国土交通省三次河川国道事務所、福山市、三次市、北広島町、尾道市、大竹市、世羅町、江田島市、竹原市、府中市、神石高原町、(公社)広島県みどり推進機構、(一社)広島県森林協会、広島県森林組合連合会、(一社)広島県山岳・スポーツクライミング連盟、(公社)日本山岳会広島支部、(一財)全国「山の日」協議会、NHK広島放送局、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島
8 協賛	西条・山と水の環境機構、㈱ウッドワン、光和物産㈱、JA グループ広島、中国木材㈱、マツダ㈱、広島県森林組合連合会、神沢精工㈱、クニヒロ(株)、山陽工業㈱、しまなみ信用金庫、東広島商工会議所、広島商工会議所、広島市漁業協同組合、㈱広島バスセンター、福山商工会議所、みずえ緑地㈱、広島県環境保健協会
9 助成	ひろしまの森づくり事業(交付金事業) 「緑の募金」助成事業

2. 各会場の記録 ①神石高原町会場 神石高原ティアガルテン

全体

■参加人数：812人

＜プログラムの状況＞

第20回ひろしま「山の日」県民の集いが、神石高原町をメイン会場にして、県内11市町12ヵ所で開催されました。コロナ禍の影響下で、感染症予防対策を行うことで、ようやく通常の開催をすることができました。当日は、午後から雨が降り始めましたが多数の来場者でにぎわいました。

会場では久しぶりに子どもたちが走り回る姿も見られ、開会式では前垣会長のあいさつ、来賓からのご祝辞や、神石高原町立豊松小学校緑の少年団の表彰、山の日宣言、八重桜の植樹が行われました。

記録者：惣道久敬（神石高原町観光協会）



▲ドローンからの会場の様子



▲ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
前垣壽男会長 挨拶



▲入江嘉則町長 歓迎の挨拶



▲広島県緑化功労賞表彰式の様子



▲「神石高原町立豊松小学校」ひろしま「山の日」宣言

記念植樹

■参加人数：12人

＜プログラムの状況＞

令和4年6月5日（日）に、神石高原町メイン会場の式典で、来賓、神石高原町立豊松小学校の児童、主催者で八重桜の苗木2本の記念植樹を行いました。

記録者：惣道久敬（神石高原町観光協会）



▲記念植樹の様子



▲神石高原町立豊松小学校の児童



▲記念植樹メンバー全員の記念撮影

ステージイベント

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

油木保育所・とよまつ保育所による体操発表、久しぶりの発表会で子どもたちの元気な姿を見せられました。

※写真は肖像権の関係で使用できませんでした
けん玉ショー（11：00～11：30）

木製のおもちゃの代表格ともいえるけん玉のショー。一つの技が決まるごとに歓声が起こり、会場を沸かせてくれました。

記録者：惣道久敬（神石高原町観光協会）



▲けん玉パフォーマンスの様子

オカリナコンサート（12：20～12：50）

宗次郎さんの曲を中心とした全6曲の披露をしていただいたオカリナコンサートはオカリナの優しい音色が会場に響き渡り、聞く人に安らぎを与え、お昼時の贅沢な時間を味わうことが出来ました。

記録者：惣道久敬（神石高原町観光協会）



▲オカリナコンサートの様子

チェーンソーアートショー (13:00~13:50)

山の作業には出番の多いチェーンソーを使用した彫刻ショー

今回は木彫りの熊を作っていただきました。チェーンソーのエンジン音とともに時にダイナミックに、時に繊細に、丸太からだんだんと形が現れていく様子をたくさんの方が興味深く見られていました。

記録者：惣道久敬 (神石高原町観光協会)



▲チェーンソーアートショーの様子

よさこいおどり (14:00~14:30)

神石高原町のイベントには欠かせないよさこいおどり。神石踊娘隊きらきら星、ふくびじんの2団体、総勢75名の華やかな踊りで、会場を大いに賑わせました。

踊り子の多くが町民の方で、ステージだけではなくイベント全体にも、参加してもらうことができ、山の日への周知にもつながりました。

記録者：惣道久敬 (神石高原町観光協会)



▲よさこい踊「ふくびじん」のメンバー



▲よさこい踊り「神石踊娘隊きらきら星」のメンバー

**森林セラピー体験・
焼きマシュマロ
葉っぱの手紙**

■参加人数：125人

＜プログラムの状況＞

森林セラピー体験自体は、午前中に整備したロードを案内する予定でしたが、整備が終わるころに雨が降り始めてしまい、あまり参加いただけませんでした。葉っぱの手紙は、タラヨウの葉に傷をつけると黒く色づき、文字を書けることにびっくり、感激をされていました。

マシュマロ焼きは家族の方が多く参加され、おいしい、楽しいと言われていました。

記録者：惣道久敬 (神石高原町観光協会)



▲森林セラピーの受付



▲葉っぱの手紙の様子



▲マシュマロ焼きの様子

箸づくり体験

■参加人数：45名

＜プログラムの状況＞

My 箸が作れるとみんな楽しんで体験をされていました。頑張った分だけきれいに仕上がる箸づくりにみんな一生懸命、箸を磨いていました。

記録者：惣道久敬 （神石高原町観光協会）

けん玉指導

■参加人数：40名

＜プログラムの状況＞

初めての方も楽しくチャレンジしてくれていました。技が出来た時の笑顔が最高でした。また、けん玉検定もチャレンジしてもらい、見事10名の方が合格をしました。

記録者：惣道久敬 （神石高原町観光協会）



▲けん玉体験ブースの様子

生協子ども広場

■参加人数：300名

＜プログラムの状況＞

家族連れの方が多く参加いただき、輪投げとバルーンアートに子どもたちがたくさん来てくれました。生協のキャラクター「コーすけ」の着ぐるみが登場すると子どもたちが多く集まり喜んでくれました。

記録者：惣道久敬 （神石高原町観光協会）



▲生協子ども広場で遊ぶ子どもたちの様子

たき火体験

■参加人数：13名

＜プログラムの状況＞

たき火の火付けを学ぶたき火体験には、5組の家族が参加をしてくれました。あいにくの天候で午後から中止の回が出てしまったのが残念でした。

たき火では森林セラピーの受付でもらえるマシュマロを焼いていました

記録者：惣道久敬（神石高原町観光協会）



▲たき火の火付け後、マシュマロ焼きの様子

ヨガ体験

■参加人数：8名

＜プログラムの状況＞

雨のため急遽、テント内で行うことになりました。自然の中で気持ちよくヨガをしていただけたかったと悔やまれますが、体験者は楽しんでいただきました。

記録者：惣道久敬（神石高原町観光協会）



▲ヨガ体験の様子

ドローン体験

■参加人数：6名

＜プログラムの状況＞

精密機器のドローンは雨に対応していない為、1回のみ体験で他は中止となりました。予約を断る形になりとても残念でした。

記録者：惣道久敬（神石高原町観光協会）



▲ドローンから見た会場全体の様子

木工体験

■参加人数：38名

＜プログラムの状況＞

木を使ったおもちゃの販売や簡単に作れる椅子づくりなど子どもたちに体験をしてもらいました。

記録者：惣道久敬（神石高原町観光協会）



▲木工積み木の販売

森林セラピーロード整備

■参加人数：37名

＜プログラムの状況＞

神石高原町は森林セラピー基地として山を案内しています。そのセラピーコースの一部にウッドチップを敷いてより快適に山を歩いてもらえるように整備を行いました。整備には神石高原町立豊松小学校緑の少年団の他、一般の方も参加され、ウッドチップを広げていました。ウッドチップの良い香りが立ち込める安心して歩けるコースになりました。途中から雨が降り始めましたが本降りになる前に終了しました。

記録者：惣道久敬（神石高原町観光協会）



▲ウッドチップを広げるの様子

猪子汁の振る舞い 神石牛のサイコロステーキ

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

今回はコロナ禍の心配もありましたが、飲食ブースも出店をしてもらいました。目玉の神石牛のサイコロステーキは直前で神石牛がテレビで取り上げられ、神石牛の注目が一気に上がり、町外の方は多くの方が購入をされていました。また、もう一つの見玉であるいのこ汁の振る舞いは、無料という事もあり長蛇の列が出来上がっていました。

他にも、ピザや、クレープ、コーヒー、串焼きなど多くの品がそろい、施設のレストランも含め、10店舗という多くのお店に出店をしていただけました。

記録者：惣道久敬（神石高原町観光協会）



▲猪子汁を求めて長蛇の列の様子



▲神石牛のサイコロステーキのブース

木材市

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

町内の林業従事者からなる木材同業者組合から木材市を行ってもらい、町内で伐採された木の薪やまな板などの販売を行いました。他にも、家具屋さんの木製チェア、よもぎ茶の販売、チェーンソーアートで作られた彫刻の販売を行いました。

記録者：惣道久敬（神石高原町観光協会）



▲木材市様子

山で働く車展示

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞（10：00～14：30）

神石郡森林組合の協力のもと山で働くハーベスターの展示を行いました。

中々見ることのできない重機に乗り込み、たくさん写真を撮られていました。

記録者：惣道久敬（神石高原町観光協会）



▲ハーベスターに乗って記念撮影

消防車・救急車の車両展示

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞（10：00～13：00）

山火事を起こさないために予防広報を兼ねて、車両の展示をしていただきました。消防車両に加え、救急車の展示は珍しく、車両内を見学されていました。

記録者：惣道久敬（神石高原町観光協会）



▲救急車の中を見学している参加者の様子(左)

警察車両展示交通安全指導

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞（10：00～12：30）

山には直接関係ないですが地域を守るという共通の理念からご協力をいただき、パトカーに加え、白バイも展示を行いました。仕事のため、途中から帰られましたが、子どもたちは大変喜んでいました。

記録者：惣道久敬（神石高原町観光協会）



▲パトカーの中を見学している様子

ひろしまの森づくり事業展示

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞（10：00～15：00）

ひろしまの森づくり事業の展示のほか、モーリー君の着ぐるみも参加しました。

記録者：惣道久敬（神石高原町観光協会）



▲ひろしまの森づくり事業の展示



管理棟内内展示

■参加数：多数

＜プログラムの状況＞（10：00～15：00）

神石高原ティアガルテンの管理棟内でも様々な展示を行いました。20回目のひろしま「山の日」県民の集いという事で、始まりから今までを振り返る山の日の歩みの展示や、神石高原町の伝統芸能の神楽に使用される木工の神楽面の展示、子どもたちの山の活動の展示や、蜜源の森づくりを行っている日本ミツバチ研究所、町内のバイオテクノロジー事業の計画展や帝釈峡の野鳥の写真展ではQRコードを読み込むと鳥の鳴き声がきけるようになっており、鳴き声と姿が分かるとても面白い取り組みでした。

記録者：惣道久敬（神石高原町観光協会）



▲ひろしま「山の日」県民の集いの振り返り



▲木工の神楽面の展示



▲帝釈峡の野鳥の写真展

閉会式

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

14：40 から閉会式を行いました。

ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会アドバイザーの中越様に講評をいただきました。その後次回開催地である安芸郡坂町、府中町、熊野町、海田町を代表し坂町長吉田隆行様にフラッグを引き継ぎました。また、今年は恒例の餅撒きを神石高原の郷土芸能である神楽とともに行いました。

記録者：惣道久敬（神石高原町観光協会）



▲広島大学名誉教授 中越信和氏の講評



▲山の日フラッグの引継ぎ
第21回メイン会場開催地 安芸郡4町(坂町)へ



▲大国主の舞と餅まき

②東広島市会場 東広島市憩いの森公園

全体

■参加人数：189人

＜プログラム状況＞

東広島市会場は、憩いの森公園の多目的広場をメイン会場として、広場では3つの体験ブース、山林内ではネイチャーゲームと山のグラウンドワークを行いました。

企業、学校、行政、一般市民、東広島みどりの少年団の団員を中心に、来賓およびスタッフを含めて総勢189人の参加がありました。「山の日」のミッションである「山に親しみ、山の恩恵に感謝する日」を念頭に置き、里山の手入れを行う「山のグラウンドワーク」をメイン行事とし、自然を感じ、自然に親しむ「森のネイチャーゲーム」、林業を身近に感じる「森の木工体験」、森の恵みを学ぶ「里山の恵み体験教室」、里山を源流とする流域河川の生きものと保全活動を知る「半尾川の生きもの展示」を行いました。

長引くコロナ禍のため、さまざまな制限がある中での開催となりましたが、手指消毒、マスク着用、ソーシャルディスタンス確保を確実にし、またケガや熱中症にも気を付けながら、安全かつ楽しく実施することが出来ました。

残念ながら途中から降りだした雨により、山のグラウンドワークは1時間で終了となりましたが、約1,500㎡を手入れすることができました。里山の手入れは継続することが重要です。本会場では、10月にも山のグラウンドワークを予定しており、再開を約束し、笑顔での閉会となりました。

記録者：岩見潤治（実行委員会 事務局）



▲開会挨拶 島 靖英 実行委員長



▲来賓挨拶 鈴木嘉一郎 東広島市産業部長



▲東広島みどりの少年団による「山の日宣言」



▲松浦尚樹作業指導者から「山に入る際の装備および安全注意事項」の説明



▲船本昌義さんをリーダーに安全祈願

どんぐりころころ唱和！

山のグラウンドワーク

■参加人数：103人

<プログラム状況>

今回は、松枯れ後に発達した落葉広葉樹の「若松の森」を対象に、低木の伐採、萌芽枝の除去（もやかき）を行いました。現地到着後、松浦指導者から作業の目的、ノコギリの使い方、安全管理、かぶれの木（ヤマウルシ）への注意などを聞き、作業を開始しました。リーダーの掛け声により、休憩と水分補給を心掛けました。除伐枝は約1mの長さに切り揃え、樹木の根元に積み上げる棚積みとしました。途中から降り出した雨により、作業を中止し、最終的に約1,500㎡の手入れを行うことができました。

記録者：岩見潤治（実行委員会 事務局）



▲作業目的、安全管理などについて指導を受ける様子



▲隣の人と十分な距離を取って作業を行う様子



▲憩いの森での再会を約束し、笑顔いっぱいの記念写真

森のネイチャーゲーム

■参加人数：76人

<プログラム状況>

山林内を散策しながら、カードに書かれた様々なミッションをクリアするフィールドビンゴゲームを行いました。参加者は、メンバーと相談しながら「ヨコもようのみき」「ちくちくする葉」「りょう手でかかえられない木」を探すなどのミッションに取り組み、メンバー全員の同意を得たものを答えとしてビンゴカードをクリアしました。その後は、見晴らしの良い場所に行き、目を閉じて聞こえる音の数を数える「音いくつ」、樹木の気持ちを代弁する「木のセリフ」などに取り組みました。

記録者：岩見潤治（実行委員会 事務局）



▲フィールドビンゴの様子



▲「音いくつ」「木のセリフ」も体験の様子

森の木工体験

■参加人数：76人

<プログラム状況>

間伐材を使った板材を用意し、椅子、本立て、カトラリーボックスの3種から1つを選んで作ってもらいました。専門家の指導を受け、スタッフに手伝ってもらいながら、電気ドリル、木ネジ、金づち、クギを使って家具を組み立てました。

記録者：岩見潤治（実行委員会 事務局）



▲木工体験の様子



▲専門家の指導を受けながら椅子などを組み立てる様子

里山の恵み体験教室

■参加人数：76人

<プログラム状況>

森に棲む虫という漢字の由来を知り、植物由来の害虫忌避成分を知るクイズを行いました。また、生きものを殺すことなく害虫被害を避けるための「虫ばいばいスプレー」づくりを行いました。

植物由来成分のうち、害虫忌避効果があるのはユーカリレモンに含まれるシトロネラルです。乳化剤としてのバスオイル、ユーカリレモン精油、水を、薬剤耐性のあるスプレー容器に入れて混和し、スプレー剤を完成させました。肌に合わない場合は使用を中止する、有機物が腐敗しやすいので早めに使い切るか、冷蔵庫で数日間は保管できるなど、取り扱いの注意事項も学びました。

記録者：岩見潤治（実行委員会 事務局）



▲クイズと座学の様子



▲虫ばいばいスプレーづくりの様子

半尾川の生きもの展示

■参加人数：150人

<プログラム状況>

憩いの森を源流とし、西条市街地を流化する半尾川に棲む生きものを展示しました。専門スタッフが生きもの名前や生態を解説し、また半尾川の清掃や美化活動などを紹介しました。展示した生きものは、ハグロトンボ、オオコオイムシ、ドジョウ、アカハライモリ、ヌマガエル、トノサマガエル、クサガメ、サワガニ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニなどでした。

記録者：岩見潤治（実行委員会 事務局）



▲生きもの展示と解説の様子



▲エビやトンボなどを熱心に観察する参加者



③廿日市市会場 県立もみのき森林公園

全体

■参加人数：500人

<プログラム状況>

“安全な森を作ろう！”の合言葉で展開されたこの日のプログラムは、「森林整備」「森のネイチャーゲーム」「ポニーと遊ぼう」「魚のつかみどり」「木工体験」「薪割り体験」「ツリークライミング体験」などを実施しました。

今にも雨が降りそうな天候や作業を安全に実施するためと作業時間を確保するため開会式は開催せず、早速に3グループに分かれそれぞれの作業場に分かれ森林整備を行いました。予想通り作業終了と同時に雨が降り始めました。

森林の多様性に関する体験活動は、予約制の体験プログラムも生憎の雨でキャンセルがあり参加者が少なかった。森林にとっては恵みの雨となった1日でした。

記録者：梅田 斉

(一般財団法人もみのき森林公園協会)

1グループ

見通しのきく森づくり



2グループ

ナラ枯れ病の大径木の伐倒

6月4日、5日と2日間で「W&S クライミング・ラボ」勉強会を兼ねてツリークライミングでミズナラを伐倒。



3グループ

植栽地の支障木の伐採



この日、もみのき森林公園で行なわれた森林の多様性に関する体験活動は、次のとおりです。

○ 森林整備	参加者	38人
○ 森のネイチャーゲーム	参加者	12人
○ ポニーと遊ぼう	参加者	7人
○ 魚のつかみどり	参加者	54人
○ 木工体験	参加者	10人
○ 薪割り体験	参加者	30人
○ ツリークライミング体験	参加者	8名

森の手入れ



▲松の木の伐採整理の様子

薪割り体験



▲受付をする参加者



▲薪割り体験の様子

ポニーと遊ぼう



▲ポニーに乗って楽しむ参加者の様子

木工体験



▲木工体験の様子

ツリークライミング体験



▲ツリークライミング体験の様子

④広島市会場 ひろしま遊学の森（広島県緑化センター）

全体

■参加人数：126人（入園者数約 293人）

レストハウス駐車場を会場に、午前10時、山根副委員長の挨拶で開会し、可部南グリーンズみどりの少年団による「山の日宣言」の後、4班に分かれて園内の森林整備・除伐活動に取り組みました。午前中に心配していた小雨もぱらつきましたが、活動を終わることができました。

会場では「自由工作塾」、「丸太切り体験」、及び「森のネイチャーゲーム」の計3つの従来の参加型プログラムを実施しました。

記録者：行森 章（広島県緑化センター）



▲可部南グリーンズみどりの少年団による「山の日宣言」

森の手入れ

■参加人数：49人

＜プログラム状況＞

1班から3班は法面に蔓延ったウリハダカエデの伐採に取り組み、斜面に気を付けながら伐採を進めて行きました。4班は経験者が多く林内の除伐を進め、作業後には見違えるように明るくなりました。

記録者：行森 章（広島県緑化センター）



▲一般参加者による森の手入れの様子

自由工作塾

■参加人数：10人

＜プログラム状況＞

木片や小枝、松ぼっくり、どんぐりなど色々な自然素材を準備しました。参加者は、まず自分で自由に材料を選び、グルーガン・接着剤で取り付けたり、カラーペンで色付けしたり、自由な発想で自然素材を活用しての木クラフトに熱心に取り組んでいました。

記録者：行森 章（広島県緑化センター）



▲木クラフトに取り組む子どもたちの様子

森のネイチャーゲーム

■参加人数：10人

＜プログラム状況＞

自然を観察しながら面白い形を探す「珍樹ハンター」に参加する人や、切株や木枝を使ったモックン人形などを思い思いに製作するなど、自然に触れ合う機会となりました。



▲製作したモックン人形

⑤広島市会場 ひろしま遊学の森（広島市森林公園）

全体

■参加人数：62人

＜プログラム状況＞

9:30 に実行委員長の広島市森林公園副島園長の挨拶と、NPO 法人もりメイト倶楽部 Hiroshima 見勢井顧問のひろしま「山の日」の経緯と概要の説明を行って始まりました。各活動は、当日の盛況と無事故を祈って開始しました。しかし、10 時前頃から小雨が降りだし 12 時頃から本降りになってきてしまいました。

記録者：桑田 荘一郎（広島市森林公園）



▲ひろしま遊学の森(広島市森林公園)副島靖夫園長 挨拶

さくら救出大作戦

■参加人数：26人

＜プログラム状況＞

「桜の名所をつくろう！～鷹ノ条山桜救出大作戦」モノレール受付付近の広場に於いて広島市森林公園副島園長による開会宣言と「NPO法人もりメイト倶楽部Hiroshima」見勢井顧問により「ひろしま山の日」発足の経緯ならびに「山の日」宣言を行い、1日の盛況と無事故を祈って開始しました。2班に分かれモノレール路線付近の班では小・中学生5人を含む親子15名が過去に植樹した桜に太陽光線が十分に当たるように除伐しました。頂上班の作業は北側の樹木が生い茂り見晴らしが悪かったため、見晴しを良くするための除伐作業を実施しました。昼前から小雨が降り出す状況になりましたが、参加して頂いた皆さまのお陰で当初の目的を達成することができました。

記録者：山本恵由美

(もりメイト倶楽部Hiroshima 理事長)



▲もりメイト倶楽部Hiroshima」見勢井誠顧問によるひろしま「山の日」の経緯について説明



▲さくら救出大作戦の様子

グリーンアドベンチャー

■参加人数：26人

＜プログラム状況＞

「管理ボランティア フォレストクラブ森守」が中心となって12年前に整備されたもので、森林公園内をクイズラリー方式でトレッキングできる延長2,150m、標高差150m、雑木林、人工林、モミジ植栽林、溪流園路、つり橋など変化に富む園内のコースに問題を18問設置してあり、いくつかの問題をSDGsに因んだものに更新して行いました。

当日は、あいにくの雨となりましたが、参加者6組25人全員がゴールされました。参加者には、当公園オリジナルの記念品「押し花入りのしおり」「どんぐりと木製置物」を、さらに成績優秀者(子ども限定)には、「昆虫缶バッジ」「バードコール」「竹のかぐや姫」などをプレゼントしました。

記録者：牟田口 努（広島市森林公園）



▲検温後ゼッケンと地図を持って、さあ森の中へ出発だ！



▲コースの中には、山あり！谷あり！遊具もあり？

森のネイチャーゲーム

■参加人数：11人

＜プログラム状況＞

① 「生き物つながりじゃんけん」→生態系サークルの学習

ジェスチャーで、バッタや鳥などを表現し同じものの達でじゃんけんを行う。

勝つと、葉っぱ→バッタ→鳥→木、の順番に変わっていき、木で勝つと上がり。

1回でも負けると葉っぱまで戻る。

家族内だけではじゃんけんの相手が足らなくなるため他の家族との交流にもなり、参加者全体で盛り上がっていました。

② 「動物当てノーズ」

トレーナーがある動物の特徴を一つずつ言っていて、分かったと思ったら鼻に人差し指を置き違ったら鼻から下す。これを繰り返して最後にはみんなで答えを合唱する。

出題された動物；カラス、カブトムシ、コウモリ

③ 「動物カード」

背中側の襟にクリップで動物カードを貼って他の人にその動物の特徴を一つずつ質問して行き、その答えをヒントにして何の動物か当てる。分かったらトレーナーに報告して当たっていたらその動物カードを胸に付ける。

ゲームの後、みんなでどんな質問をしたか、どの質問で分かったかを振り返りまとめました。

(②,③については、正解をすることだけが目的ではなく特徴や生態等から生き物に関心を持ち想像して行く楽しさを知って頂くためのメニューです)

④ 参加記念「森のクラフト；マグネット円板づくり」

トレーナーが用意した磁石付きの板に貝殻、木の実、木の枝などを使い、木工ボンドで貼ってオリジナルのマグネット円板を作成し記念に持ち帰って頂きました。今回のクラフトは、親子揃って夢中になり、様々な作品を作っていました。

記録者：表田啓太郎

(広島市シェアリングネイチャーの会)



▲「生き物つながりじゃんけん」最後に木で残れるかなあ!!



▲「森のクラフト；マグネット円板づくり」

⑥庄原市会場 国営備北丘陵公園

全体

■参加人数：38人

<プログラム状況> [開催日：6月18日(土)]

10:00～ 開会、自己紹介、作業説明、諸注意

10:30～ 畑の整備、玉ねぎ収穫

11:30～ ワークショップ

「自然木で箸・スプーンづくり」

12:00～ 昼食

13:00～ ワークショップ

「自然木で箸・スプーンづくり」

16:00 閉会

蒸し暑い日が続く中での開催で、コロナ対策と熱中症対策は慎重に協議し、マスクは任意とし、距離を十分にとることで対策をとりました。畑の整備では草抜きと玉ねぎの収穫を行いました。また、前回開催時に県立広島大学 荻田教授と共に植栽したパパイアの途中経過についても観察しました。

畑作業後、午前と午後にかけて「自然木で箸・スプーンづくり」を行いました。参加者は自分が理想とする作品を作るべく黙々と作業をしていました。制作前に講師によるレクチャーも行われ、小刀や鉋などの刃物の取り扱いについても確認を行いました。参加者は自然の中でのびのびと過ごされており、充実した活動となりました。

記録者：伊藤まどか(備北公園管理センター)

森の学校



▲草抜きと玉ねぎの収穫の様子



▲自然木で箸・スプーンづくりの様子



▲参加者全員で記念撮影

⑦福山市会場 ふくやまふれ愛ランド

全体

■参加人数：20人

＜プログラム状況＞

第20回ひろしま「山の日」県民の集いを、6月5日(日)に福山市赤坂町にある【ふくやまふれ愛ランド】にて今年も開催致しました。まだまだコロナ禍の影響が懸念される中での開催ではありましたが、昨年度より若干多い20人の参加人数となり、山の大切さを理解し行動する人が増えてきていることに、改めて感謝を致しました。

午前10時から開会式が始まり、開会の挨拶に続いて「開会宣言」と「山の日宣言」を行いました。開会式終了後、山のグラウンドワーク(里山の手入れ)を行うため参加者全員は軍手とヘルメットを身に付け、現地の山林内(D遊歩道沿い)へ向かいました。

今年の植樹苗木「ソメイヨシノ」を植える作業に入りましたが、開催日前まで天候が良かったからか土壌がとて固く女性陣は土を掘り起こすのに悪戦苦闘しましたが、男性陣の力を借りながらなんとか植樹することができました。自分たちが植えた苗木を見ながら、「来年度この場所に来たらどれだけ成長しているか楽しみだ」との声もありましたので、記念に写真を撮り、山の大切さや自然の触れ合いに感謝ができた、とても充実した1日となりました。

記録者：繁田健司(光和物産株式会社)



山のグラウンドワーク (里山の手入れ)



▲里山の手入れの様子

登山道整備



▲植樹をしている様子

⑧北広島町会場 八幡高原

全体

■参加人数：143人

＜プログラム状況＞

第20回ひろしま「山の日」県民の集い北広島町会場は、日本山岳会広島支部、NPO法人西中国山地自然史研究会が企画・協力し、3つのプログラムと展示を準備しました。「初心者のための登山教室」は、大佐山登山口から山頂をめざし24名で登山する予定でしたが、悪天候のため頂上をあきらめ、ゲレンデを下山しました。途中でカナヘビを見つけたり、アカモノやオオナルコユリを観察したりと、参加した子どもたちからは「楽しかった」という感想があったようです。「霧ヶ谷湿原自然再生地の整備」では、29名のボランティアが参加してくださいました。機械班と手作業班に分かれ、伐木や伐採木の整理をし、カンボクは残し、ほぼ皆伐した景色となりました。降雨のため、午前中で作業は終了しました。当日に幟や横断幕がなく寂しかったとのご意見がありましたので、来年は改善したいと思います。さらに、高原の自然館内で、植物学者牧野富太郎博士が八幡高原を訪れた際に残した俳句の掛け軸と、加計高校芸北分校の生徒が作成した牧野博士についての展示をし、75名の来館者がありました。

開会式では、山の日宣言も読み上げられ、作業や活動を通じて、山に親しみ、山の恩恵を感じる大切さを体験できたのではないかと思います。また、前日には「大佐山～鷹ノ巣山登山道整備」も15名で実施し、安全管理に努めながら、登山道の整備が進んだとともに、歩く人が少なく、藪化が避けられないという感想がありました。

ひろしま「山の日」県民の集いをきっかけとし、山林への関心や関わりを高めていただければと思います。

記録者：河野弥生(NPO法人西中国山地自然史研究会)



▲【登山教室】ゲレンデ沿いを歩く



▲【登山教室】アカモノが咲いていた



▲【登山教室】雨が降ってきたので下山



▲参加者の記念撮影



▲【高原の自然館展示】高校生が作成した展示物



▲【高原の自然館展示】牧野富太郎博士が残した掛け軸展示



▲【高原の自然館展示】高校生が作成した展示物

⑨三次市会場 酒屋いこいの森・ほしはら山のがっこう

全体

■参加人数：143人

＜プログラム状況＞

酒屋いこいの森をメイン会場として、新型コロナ感染対策に配慮し、受付時に検温・アルコール消毒を行い、137名の参加を得て、3年ぶりに「山の日」の行事を行いました。

開会行事では、実行委員長のあいさつ、三次市立酒屋小学校の児童による「山の日宣言」の後、全員で「森の手入れ」を行いました。

その後、木のスプーンとキーホルダーを作成する「木工クラフト」、会場の森の中を探索しながらの「自然観察会」、「ツリーハウスで木登り体験」に分かれて、森や木に親しむ「山の日」を過ごしました。

昼前から小雨模様となりましたが、各イベント会場は、子どもたちでいっぱいとなり、順番待ちになるなど、昼までの短い時間でしたが、思い思いに楽しんでおり、有意義な「山の日」になりました。

記録者：竹常明仁(三次市 産業振興部 農政課)



▲箕田英紀実行委員長 挨拶



▲三次市立酒屋小学校の児童による「山の日宣言」

森で遊ぼう



▲みんなで森の手入れの様子



▲木の砂場とスプーンづくり



▲ツリーハウスで木登り体験

三次市サテライト会場 ～ほしはら山のがっこう～

エゴノキの花々が星型を地面に落とし始めた6月第一日曜日、三次サテライト会場の「ほしはら山のがっこう」の森で、山の日行事が行われました。県内あちらこちらから親子連れの参加者35名、森づくりに協力くださる企業の方13名が参加し、山に親しむ一日を過ごしました。10時の開会式では、里山の多面的機能とこれからの利用について、NPO法人ほしはら山のがっこうの体験塾スタッフであり、普段は林業に携わっているスタッフが説明し、今日の森づくりの目的を共有しました。

今日の森づくりは、「まつぼっくり広場」と名付けた小高い丘の山頂部で、山の大掃除をしました。3月までに伐ったアカマツ林の枯れた松やヒサカキなどを、大きさ別に整理し、薪や焚き付けに使えるようなものは、背負子で麓に持っていました。二宮金次郎のような姿になって、子どもたちが張り切って運びました。また松葉や落葉のたまった地面を掃いて、スッキリしました。この辺りには、最近「森のエビフライ」などと呼ばれる、里山の動物がマツボックリをかじって食べた痕がたくさん見られるようになりました。ほしはら山のがっこうの校舎には、昔ムササビが巣をつくっていた跡があり、地区の農家の屋根裏にもムササビが来ているということで、「ムササビの食痕じゃない？」と、いつか姿を見られる日を楽しみにしています。「ムササビは、敵から追われたときに、飛んで逃げやすい森が好きなんだよ」という話を聞いて、ムササビのために！と山仕事に張り切る子どもたちの姿がありました。

昼頃から雨が降り始め、軒下で、(一社)ひろしま森のおもちゃ協会による「森のクラフト」、広島さとやまシェアリングネイチャーの会(広島県シェアリングネイチャー協会地域の会)による「草花万華鏡づくり」のプログラムが行われ、また焚き火でマシュマロを焼いて食べるなど、五感を通して「ひろしまの山」にふれあいました。

15時に雨音の聞こえる軒下で閉会式をしました。「みんなのおかげで山がスッキリしましたが、森づ

くりも農村の草刈りも、手入れの連続が必要です。またみんなで汗をかいて、そして遊びましょう。」とあいさつがありました。

記録者：NPO法人ほしはら山のがっこう



▲開会式の様子



▲まつぼっくり広場づくりの様子



▲焚き付けや薪になりそうな木を運びました。



▲木のいろんな運び方を学んで、やってみました。

森のクラフト

午前中にほしはらの森から持って降りた枝木で、子どもたちが自由な発想を広げてクラフトをしました。親子連れの参加者35名が参加しました。枝をノコギリで切って、積み木のようにして遊んだり、端材と合わせて乗り物を作ったり。また毛糸を巻き付けて飾りづくりをしたり・・・。ノコギリで切るとき、木の硬さや古さ（ボロボロで使えないもの、新しく水気があるもの）などを感じ、また積み木で木の重さの違いを感じるなど。遊びを通して木とふれあいました。ノコギリや金づちなど、工作道具の使い方や安全への心構えも、遊びを通して身に付ける機会になるクラフトタイム。創造の翼を広げ、思い思いに楽しんでいました。

記録者：(一社) ひろしま森のおもちゃ協会



▲積み木のようにして遊んでいる子どもたち



▲工作道具の使い方や安全への心構えを指導している様子

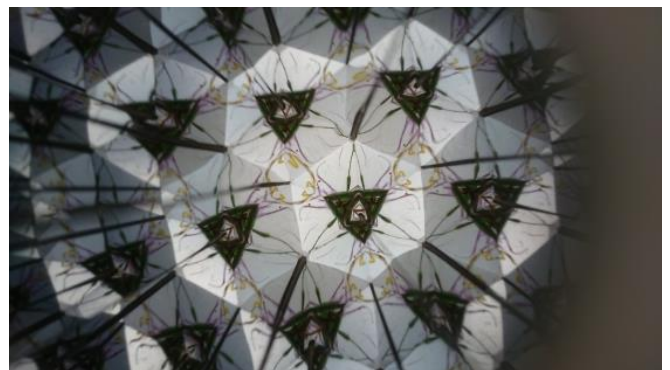
草花万華鏡づくり

午後から雨が降ったので、軒下で草花万華鏡づくりをしました。親子35名が、他のコーナーと順番に参加しました。ほしはらの森の近くに咲いている野の花や草、木くずなどをケースに入れて万華鏡を覗くと、自然物の色や形の特徴が模様になって現れます。その美しさに「見て見て！キレイじゃねえ」「私のも見て」と、親子や友だち同士で見せ合っていました。友だちのを見て、草花を何度も入れ替えて、工夫する姿もありました。雨音を聞きながら、のんびりと6月の草花の美しさを味わう時間になりました。

記録者：広島さとやまシェアリングネイチャーの会
(広島県シェアリングネイチャー協会)



▲万華鏡づくりの様子



▲出来上がった万華鏡を覗いている様子

おおたけの里山いきもの パネル展

全体

■参加人数：多数

＜プログラム状況＞

マロンの里交流館でおおたけの里山の動物を題材としたパネル展を6月5日から6月30日までの期間で開催しました。大竹で見ることができる里山の動物や川のいきものの生態や豆知識などを紹介し、少しでも里山を身近に感じてもらえる機会となったと思います。

記録者：岡部慎悟（大竹市総務部 産業振興課）



▲大竹の実際の森林の航空写真を貼付け、木の形を模した看板を作成しました。



▲里山の動物について、名前は聞いたことがあっても、見たことがなかったり、生態を知らなかったりするので、今回のパネル展で身近に感じてもらえたらうれしいです。



▲魚類を中心に展示しました。川の中には、多くの種類の生物たちが生きています。里山の環境を守り、きれいな川を維持することが、この生物たちを守っていくことにつながります。

⑪世羅町会場 せら夢公園

全体

■参加人数：150人

＜プログラム状況＞

第20回ひろしま「山の日」県民の集い世羅町会場をせら夢公園で開催しました。6月4日に開催した前日イベント「チェーンソー講習会」では、ひろ森あんから講師を招き11人が、チェーンソーの使い方や注意点を学び、木を切る実技を行いました。6月5日のイベント当日では、開会式にて山口勝博実行委員長による開会挨拶、奥田正和町長、米重典子議長による来賓祝辞があり、株式会社セラアグリパークの宮本幸三さんによる山の日宣言が行われ、行事を開始しました。当日は、親子連れを中心に約170人の方々にご来場いただき、約150人が体験活動に参加しました。世羅町会場では、「山の日本木工体験」「しいたけ菌打ち体験」「薪ストーブ体験」「里山の木をきろう」「薪づくり体験」「里山の自然を観察しよう」の6つのプログラムにて森林・林業体験プログラムを行いました。昼から雨により中止となりましたが、子どもから大人まで幅広い世代の方々に山に親しんでいただくことができました。

記録者：横田康之（世羅町役場 産業振興課）



▲山口勝博実行委員長 開会挨拶



▲奥田正和町長 祝辞



▲米重典子議長 祝辞



▲宮本幸三実行委員 山の日宣言

チェーンソー講習会

■参加人数：11人

＜プログラム状況＞[開催日：6月4日(土)]

ひろ森あんの方を講師に招き、午前中チェーンソーの使用の仕方や注意点を学ぶ座学を行い、午後からチェーンソーを实际使用し、丸太を切る実技を行いました。便利な一方、危険が伴うチェーンソーについて、参加者の皆様は講師のあげる注意点を熱心に聞かれておりました。

記録者：横田康之（世羅町役場 産業振興課）



▲チェーンソー講習会の様子

山の日木工体験

■参加人数：52人

<プログラム状況>

広島県産材を使用したマガジンラックやフラワースタンドの木工体験を行いました。マガジンラックやフラワースタンド完成後は、好きなイラストを描くなどして、オリジナルの作品を作成し、とても満足していただきました。また、木製品の良さを皆さんに知っていただく良い機会となりました。

記録者：横田康之（世羅町役場 産業振興課）



▲マガジンラックを制作している様子

しいたけ菌打ち体験

■参加人数：47人

<プログラム状況>

しいたけ原木を利用して、しいたけドリルによる穴あけ、菌打ち体験を行いました。参加者の中には初めて菌打ちに挑戦される方もおられました。

記録者：横田康之（世羅町役場 産業振興課）



▲しいたけ菌を打ち込んでいる様子

薪ストーブ体験

■参加人数：10人

<プログラム状況>

薪ストーブの体験会を行いました。環境にやさしいと言われる薪ストーブを立ち寄って見られる方もいらっしゃいました。

記録者：横田康之（世羅町役場 産業振興課）



▲薪ストーブの体験会受付の様子

里山の木をきろう

■参加人数：8人

<プログラム状況>

自然観察園内の小木を切る体験をしました。親子ずれの参加者が多く、初めてノコギリを握って、木を切ってみたお子様もいらっしゃいました。

記録者：横田康之（世羅町役場 産業振興課）



▲ノコギリ体験をしている様子

薪づくり体験

■参加人数：7人

＜プログラム状況＞

薪割り体験は斧や手動薪割り機を使って行いました。参加者は、「薪の中心を捉えるのが難しいがきれいに割れると嬉しい」などと、とても楽しそうに体験をしていました。

記録者：横田康之（世羅町役場 産業振興課）



▲手動薪割り機を使っでの薪割り体験の様子



▲斧での薪割り体験の様子

里山の自然を観察しよう

■参加人数：24人

＜プログラム状況＞

せら夢公園の自然観察園で野生の生物の観察会を行いました。プログラムを第1部・第2部と分けて行い、自然観察園の各ポイントで講師の方から説明があり、カメラを片手に多くの参加者にせら高原の自然に親しんでいただくことができました。

記録者：横田康之（世羅町役場 産業振興課）



▲自然観察園の各ポイントで説明を受けている様子



▲自然観察園の各ポイントで説明を受けている様子



⑫府中市会場 府中市月見ヶ丘公園

全体

■参加人数：80人

＜プログラム状況＞

9時～ 開会式

1. 主催者（本山町里山倶楽部会長） 挨拶

2. 後援・府中市(経済観光部農林課長)

メッセージ代読

3. 記念撮影

4. オリエンテーション

(コース別に分れて注意事項の説明、スタッフ、看護師の紹介、緊急時対応等について)

5. 里山散策へ出発。

散策終了後はチームごとに解散

a. 亀ヶ岳トレッキング (14時30分終了)

b. 本山史跡めぐり (15時10分終了)

*記念植樹・・・七つ池・大池(5番池)西側広場へ「緋寒桜」一本植樹しました。

*8時30分～10時30分スウェーデントーチ作り教室を行いました。

記録者：本山町里山倶楽部



▲本山町里山倶楽部会長 挨拶



▲開会式の様子



▲参加者全員で記念撮影



▲七つ池・大池(5番池)西側広場へ「緋寒桜」の記念植樹

亀ヶ岳トレッキングと 本山史跡めぐり

■参加人数：51人

＜プログラム状況＞

【亀ヶ岳トレッキングコース】

森林コーディネーターが同行して、散策マップを見ながらトレッキングを楽しみました。天候に恵まれ、亀ヶ岳山頂より瀬戸内海の島々を遠望できました。

コース

月見ヶ丘公園 ➡ 青目寺 ➡ 大蛇の古道 ➡ ローリー(大池) ➡ 亀ヶ岳 ➡ 龍王展望台 ➡ 仙人の岩 ➡ 石鎚さん ➡ 青目寺 ➡ 月見ヶ丘公園

【本山史跡めぐりコース】

本山郷土史会のガイドが同行し、悠久の昔に思いを馳せながら史跡巡りを楽しみました。

コース

月見ヶ丘体育施設 ➡ 日吉神社 ➡ 花山法皇像 ➡ 青目寺 ➡ うしの塔 ➡ 幡立山 ➡ 七つ池の一番池土手 ➡ 南御堂 ➡ 西御堂 ➡ 中御堂 ➡ 亀ヶ岳山頂 ➡ 下山

記録者：本山町里山倶楽部



▲出発前のグループ別のオリエンテーションの様子



▲大蛇の古道を進む様子



▲亀ヶ岳山頂より瀬戸内海を眺望する様子

里山物産展

■参加人数：多数

＜プログラム状況＞

地元の取り立ての新鮮な野菜・もち麦・うるち米・夏野菜・木炭・薪など盛り沢山の物産を販売しました。特にもち麦と木炭が好評でした。

記録者：本山町里山倶楽部



▲里山物産展の様子

3. 実行委員

実行委員会（全体）

■アドバイザー

城納 一昭 元・広島県副知事
中越 信和 広島大学名誉教授
伊藤 利彦 愛する熱帯多雨林のために再生紙で名刺を作る会 幹事 元・広島市収入役
奥迫 輝昭 (公社)広島県みどり推進機構 事務局長
岡島 鉄也 中国新聞社 代表取締役社長
宮迫 良己 (株)中国放送 代表取締役社長

■会長

前垣 壽男 西条・山と水の環境機構 理事長

■副会長

内海 康仁 光和物産株式会社 代表取締役会長
櫻井 充弘 ひろしま人と樹の会 事務局長
見勢井 誠 NPO法人もりメイト倶楽部 Hiroshima 顧問
瀬川 千代子 エコロジー研究会 事務局長
山田 雅昭 (一社)広島県山岳・スポーツライティング連盟会長
箕田 英紀 三次市酒屋地区自治連合会会長、
エコパークの森づくり副実行委員長

■委員

赤木 茂 光和物産(株) 取締役総務部長
秋山 浩三 広島県シェアリングネイチャー協会 事務局長
齋 陽 (公社)日本山岳会広島支部 支部長
井上 年光 阿品の森サポータークラブ 会長
小川 俊章 中国木材株式会社 総務課長
河野 弥生 NPO法人西中国山地自然史研究会
近藤 紘史 NPO法人西中国山地自然史研究会 代表
志々田 学 (公財)オイスカ広島県支部 事務局長
柴田 壮太郎 エコロジー研究会ひろしま
菅原 基晴 中央森林公園協会常務理事 兼事務局長
仙田 信吾 (株)サンフレッチェ広島 代表取締役社長
副島 靖夫 ひろしま遊学の森(広島市森林公園) 園長
谷村 恭佐 (一財)もみのき森林公園協会 理事長
中嶋 剛二 広島県森林インストラクター連絡協議会
野本 利夫 NPO 法人ゆあーず「食」未来研究所 理事長
林 高正 板橋さとやま倶楽部 理事長
福永 やす子 (一社)広島県山岳・スポーツライティング連盟
細川 正紀 阿品の森サポータークラブ 事務局長
吉田 幸 株式会社中国放送 総務局広報部長
宮岡 泰久 サポート・トレッキング・グループ 会長
渡部 英美 (株)中国新聞企画サービス 課長

(五十音順)

■監事

梅田 斉 (一財)もみのき森林公園協会 事務局長

■事務局（委員兼任：事務局長）

山本 祐二 NPO 法人ひろしまNPO センター 常務理事

各会場実行委員会

□神石高原町会場実行委員会

■実行委員長 森重 純也 神石高原町副町長
■副委員長 河相 道夫 (一社)神石高原町観光協会代表理事
■事務局長 富山 公明 (一社)神石高原町観光協会専務理事

□東広島市会場実行委員会

■実行委員長 島 靖英 西条・山と水の環境機構 運営委員
■副委員長 浅野 敏久 広島大学大学院人間社会科学研究科教授
呉・東広島シェアリングネイチャーの会
■運営委員長 松浦 尚樹 賀茂地方森林組合
■事務局長 岩見 潤治 西条・山と水の環境機構 事務局

□廿日市市会場実行委員会

■実行委員長 谷村 恭佐 (一財)もみのき森林公園協会 理事長
■副委員長 細川 正紀 阿品の森サポータークラブ 会長
■事務局長 梅田 斉 (一財)もみのき森林公園協会 事務局長

□広島市会場ひろしま遊学の森(広島市森林公園)会場 実行委員会

■実行委員長 副島 靖夫 広島市森林公園 園長
■副委員長 下 博文 広島市森林公園 副園長
■運営委員長 山本恵由美 NPO 法人もりメイト Hiroshima 倶楽部
理事長
■運営副委員長 林 良介 フォレストクラブ森守 代表
■事務局長 桑田 莊一郎 広島市森林公園

□広島市会場ひろしま遊学の森(広島県緑化センター)会場 実行委員会

■実行委員長 正本 大 みずえ緑地(株) 代表取締役社長
■副委員長・事務局長 山根 道廣 広島県緑化センター 所長
■運営委員長 行森 章 広島県緑化センター
■運営副委員長 小林 俊幸 広島県緑化センター
■事務局長 山根 道廣 広島県緑化センター 所長

□三原市会場実行委員会

※今年度は、開催しておりません。

□庄原市会場実行委員会

■事務局 末長 秀紀 備北公園管理センター企画広報課

□福山市会場実行委員会

■実行委員長

内海 康仁 光和物産(株) 代表取締役会長

■副委員長

赤木 茂 光和物産(株) 取締役専務執行役員

■事務局

繁田 健司 光和物産(株)

□三次市会場実行委員会

■実行委員長

箕田 英紀 三次市酒屋地区自治連合会 会長
酒屋森づくり実行委員会 委員長

■事務局

竹常 明仁 三次市産業環境部農政課

□呉市会場実行委員会

※今年度は、開催しておりません。

□北広島町八幡高原会場実行委員会

■実行委員長

近藤 紘史 NPO 法人西中国山地自然史研究会
理事長

■事務局長

河野 弥生 NPO 法人西中国山地自然史研究会

□尾道市会場実行委員会

※今年度は、開催しておりません。

□安芸高田市会場実行委員会

※今年度は、開催しておりません。

□安芸太田町会場実行委員会

※今年度は、開催しておりません。

□大竹市会場実行委員会

■事務局

岡部 慎悟 大竹市総務部 産業振興課

□世羅町会場実行委員会

■実行委員長

山口 勝博 世羅郡森林組合 代表理事組合長

■事務局長

山口 徹 世羅町産業振興課 課長

□大崎上島町会場実行委員会

※今年度は、開催しておりません。

□江田島市会場実行委員会

※今年度は、開催しておりません。

□竹原市会場実行委員会

※今年度は、開催しておりません。

□府中市会場実行委員会

■実行委員長

武田 純治 本山町里山倶楽部 会長

■事務局

武田 純治 本山町里山倶楽部 会長

※以上、2022年6月5日時点での委員及び所属等を記載しております。

たくさんの方々に協力していただき行事を行なうことができました。心より感謝申し上げます。

4. ひろしま「山の日」県民の集いの歩み

1. 「山の日」のきっかけ

森林ボランティアに関わる人たちが全国から集まり、第7回森林と市民を結ぶ全国の集い（会期：2002年2月9日～11日 開催場所：広島県東広島市とその周辺 主催：第7回森林と市民を結ぶ県民の集い実行委員会他 総参加者：2,294人）が開催されました。その初日のシンポジウムにおいて、パネリストの1人から「山の日」をつくらうとの提案がされました。

提案を受け、分科会等での議論等を経て、集いの締めくくりに、私たちからのメッセージとし「6月の第一日曜日を山の日として、その日は山に関わろう」というメッセージを発信しました。

2. ひろしま「山の日」県民の集いの積み重ね

山の大切さをできるだけ多くの人たちに知っていただきたい。そのきっかけづくりとしてひろしま「山の日」県民の集いを広島県内各地の会場で開催しています。第1回～4回までは、広島県内1ヶ所の会場で開催していました。第5回以降、・メイン会場と・サテライト会場方式として県内数ヶ所で同時開催、第18回までは、あわせて1万3千人が参加する行事になっています。

回数	日時	場所	参加者 (人)	主催
1	2002年6月1日(土)・ 6月2日(日)	東広島市	1,500	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
2	2003年6月7日(土)・ 6月8日(日)	廿日市市	3,000	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
3	2004年6月5日(土)・ 6月6日(日)	広島市	2,400	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
4	2005年10月15日(土)・ 10月16日(日)	三原市	5,000	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、平成17年度広島県植樹祭実行委員会
5	2006年10月22日(日) ※全国育樹祭と連携	○メイン会場：庄原市 ○サテライト会場：東広島市、廿日市市、広島市(2)、三原市	11,700	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社
6	2007年10月20日(土)・ 10月21日(日)	○メイン会場：福山市 ○サテライト会場：東広島市、廿日市市、広島市(2)、三原市、庄原市	10,110	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社

7	2008年10月18日(土)・ 10月19日(日)	○メイン会場：三次市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市、三原市、 庄原市、福山市	10,000	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社
8	2009年6月6日(土)・ 6月7日(日)	○メイン会場：呉市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、三原市、 庄原市、福山市、三次市	7,000	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
9	2010年6月5日(土)・ 6月6日(日)	○メイン会場：北広島町 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市、呉市	8,600	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
10	2011年6月4日(土)・ 6月5日(日) ※第10回記念行事	広島市(記念講演会) 東広島市、廿日市市、広島市 (2)、三原市、庄原市、 福山市、三次市、呉市、 北広島町	11,600	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
11	2012年6月2日(土)・ 6月3日(日)	○メイン会場：尾道市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市、呉市、北広島町	7,000 ※朝、雨	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
12	2013年6月1日(土)・ 6月2日(日)	○メイン会場：安芸高田市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市、呉市、北広島町、 尾道市	3,200 ※終日雨天	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
13	2014年5月31日(土)・ 6月1日(日)	○メイン会場：安芸太田町 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市、呉市、北広島町、 尾道市、安芸高田	9,000	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送

14	2015年6月6日(土)・ 6月7日(日)	○メイン会場：大竹市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市(2)、呉市、北広島町、 尾道市、安芸高田市、 安芸太田町	10,540	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
15	2016年6月4日(土)・ 6月5日(日)	○メイン会場：世羅町 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市、呉市、北広島町、 尾道市、安芸高田市、 安芸太田町、大竹市	7,120	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
16	2017年6月3日(土)・ 6月4日(日)	○メイン会場：大崎上島町 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、 三原市、福山市、三次市、 呉市、北広島町、尾道市、 安芸高田市、安芸太田町、 大竹市、世羅町	10,860	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
17	2018年6月3日(日)	○メイン会場：江田島市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、三原市、 庄原市、福山市、三次市、呉市、 北広島町、安芸高田市、 安芸太田町、大竹市、世羅町、 大崎上島町	11,710	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
18	2019年6月2日(日)	○メイン会場：竹原市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(注)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市、呉市、北広島町、 安芸太田町、大竹市、世羅町、 大崎上島町、江田島市 (注)2018年7月豪雨災害の為、 広島市森林公園会場は未開催	13,640	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送

19	2021年8月8日(日・祝日山の日)	○メイン会場：府中市 ○サテライト会場：東広島市、廿日市市、広島市(2)、福山市、北広島町、竹原市	1,230	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社、中国放送
20	2022年6月4日(土)・6月5日(日)・6月18日(土)・6月26日(日)	○メイン会場：神石高原町 ○サテライト会場：東広島市、廿日市市、広島市(2)、庄原市、福山市、三次市、北広島町、大竹市、世羅町、府中市、	2,110	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社、中国放送

※但し、参加者は10人台で計数しています。

第 20 回ひろしま「山の日」県民の集いの記録

- 発行日 2022 年 9 月 1 日
- 発行・編集 ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
- 監修 中越 信和 (広島大学 名誉教授)
- 事務局 〒730-0031 広島市中区紙屋町 1 丁目 6 - 1
紙屋町ギャラリー 303 号室
- TEL:082-258-1348 FAX:082-258-1349
e-mail:info@yamanohi.com
-



- 山の日ロゴ: 山と人との調和をモチーフにデザイン開発。
基本カラーはエコグリーン。
デザインは木原実行さん。



「緑の募金」助成事業

この行事は、「ひろしまの森づくり県民税」を活用して開催しています。

ひろしまの森づくりキャラクター モーリー

